

平成 1 6 年度 第 3 回

受注登録企業動向調査結果報告書

(平成 1 6 年 1 2 月末現在)

財団法人 京都産業 2 1

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業の受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせんの円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300企業

業種別内訳（産業分類 中分類）

鉄鋼・非鉄関係	30企業	金属製品関係	45企業
一般機器関係	45企業	電気機器関係	45企業
輸送用機器関係	30企業	精密機器関係	30企業
縫製関係	45企業	樹脂製品関係	30企業

(3) 調査時点

平成16年12月31日現在

（前回調査時点 平成16年9月30日）

(4) 調査方法

調査票（別紙様式）の郵送によるアンケート方式

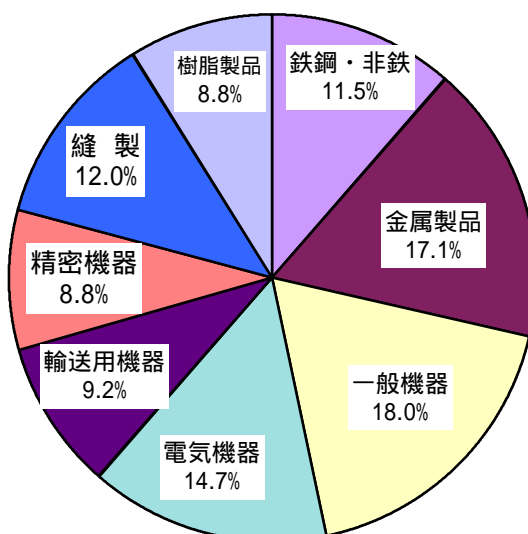
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回収状況

調査対象企業数	300企業		
回収企業	217企業		
内訳	鉄鋼・非鉄関係	25企業	(11.5%)
	金属製品関係	37企業	(17.1%)
	一般機器関係	39企業	(18.0%)
	電気機器関係	32企業	(14.7%)
	輸送用機器関係	20企業	(9.2%)
	精密機器関係	19企業	(8.8%)
	縫製関係	26企業	(12.0%)
	樹脂製品関係	19企業	(8.8%)
回収率	72.3%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
個人	23 10.6%	2 8.0%	0 0.0%	1 2.6%	3 9.4%	4 20.0%	1 5.3%	9 34.6%	3 15.8%
～300万円	18 8.3%	2 8.0%	1 2.7%	0 0.0%	2 6.3%	1 5.0%	4 21.1%	6 23.1%	2 10.5%
301～999万円	18 8.3%	2 8.0%	2 5.4%	4 10.3%	2 6.3%	2 10.0%	2 10.5%	2 7.7%	2 10.5%
1,000～2,000万円	120 55.3%	12 48.0%	29 78.4%	27 69.2%	20 62.5%	11 55.0%	5 26.3%	9 34.6%	7 36.8%
2,001～5,000万円	30 13.8%	4 16.0%	5 13.5%	7 17.9%	4 12.5%	2 10.0%	4 21.1%	0 0.0%	4 21.1%
5,000万円超	8 3.7%	3 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%
合計	217 100%	25 100%	37 100%	39 100%	32 100%	20 100%	19 100%	26 100%	19 100%

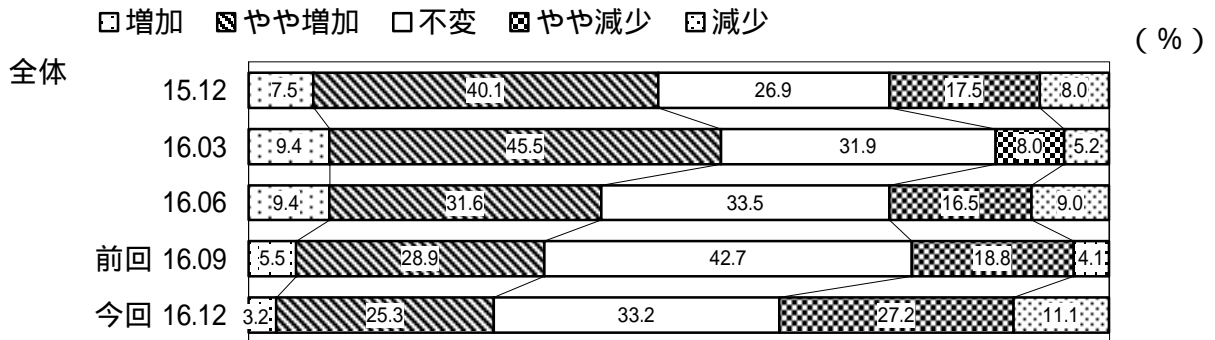
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

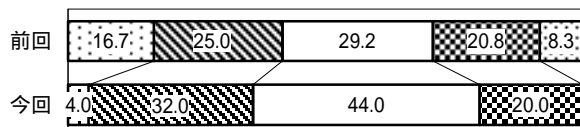
	全体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	縫製	樹脂製品
1～5人	41 18.9%	6 24.0%	2 5.4%	2 5.1%	4 12.5%	4 20.0%	3 15.8%	12 46.2%	8 42.1%
6～10人	42 19.4%	4 16.0%	8 21.6%	11 28.2%	5 15.6%	4 20.0%	2 10.5%	5 19.2%	3 15.8%
11～20人	58 26.7%	5 20.0%	16 43.2%	11 28.2%	8 25.0%	5 25.0%	6 31.6%	6 23.1%	1 5.3%
21～30人	27 12.4%	4 16.0%	4 10.8%	7 17.9%	6 18.8%	3 15.0%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%
31～50人	21 9.7%	1 4.0%	3 8.1%	5 12.8%	4 12.5%	3 15.0%	2 10.5%	2 7.7%	1 5.3%
51人以上	28 12.9%	5 20.0%	4 10.8%	3 7.7%	5 15.6%	1 5.0%	5 26.3%	1 3.8%	4 21.1%
合計	217 100%	25 100%	37 100%	39 100%	32 100%	20 100%	19 100%	26 100%	19 100%

3. 調査結果

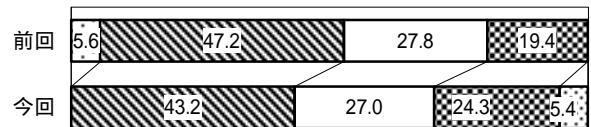
(1) 受注量について



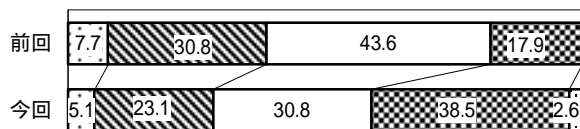
鉄鋼・非鉄



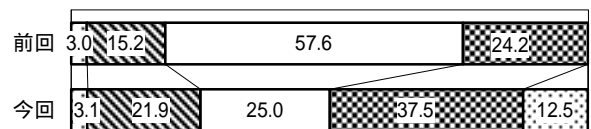
金属製品



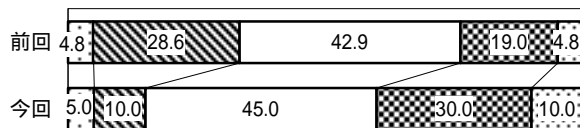
一般機器



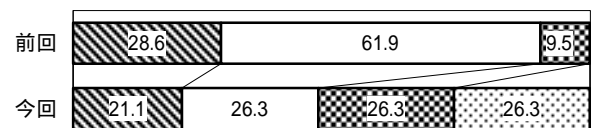
電気機器



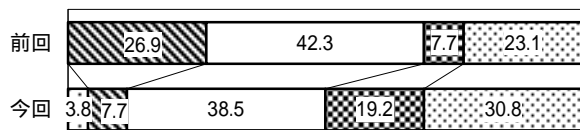
輸送用機器



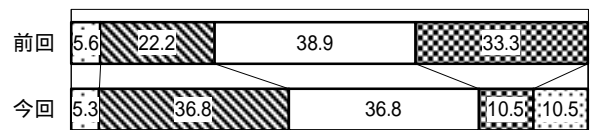
精密機器



縫製



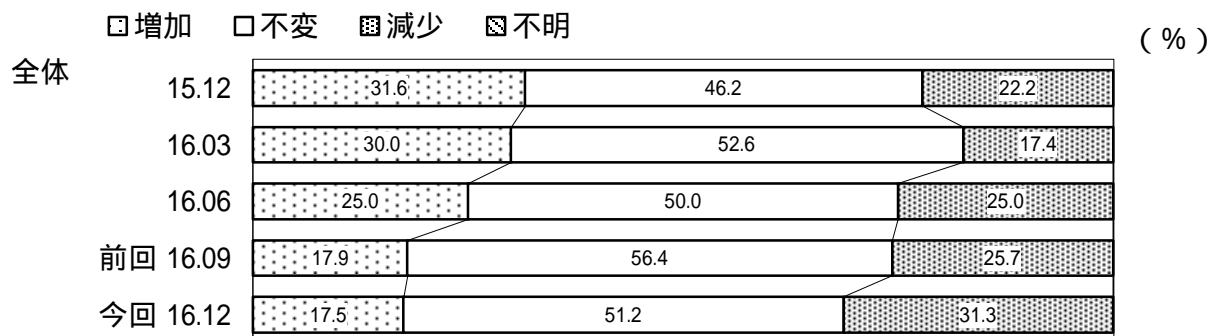
樹脂製品



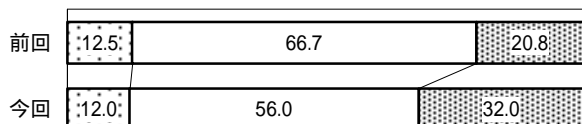
・全体では、「増えた」（増加又はやや増加）とする企業が28.5%で前回調査と比べて5.9ポイント減少し、「減った」（減少又はやや減少）とする企業は38.3%で、前回調査と比べて15.4ポイント増加している。

・業種別に見ると、鉄鋼・非鉄、金属製品、樹脂製品では「増加」が「減少」を上回っている。前回調査と比べると、電気機器と樹脂製品で「増えた」とする企業が増加しており、鉄鋼・非鉄と樹脂製品では「減った」とする企業が減少している。

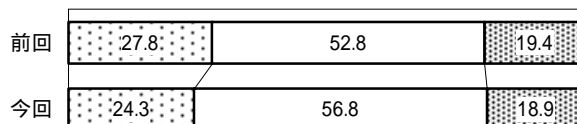
(2) 受注量の見通しについて



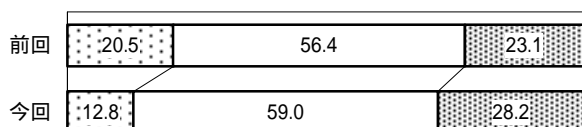
鉄鋼・非鉄



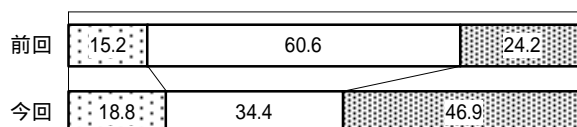
金属製品



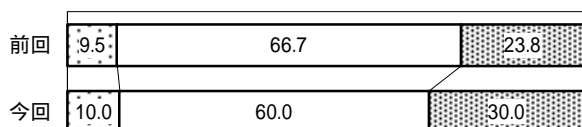
一般機器



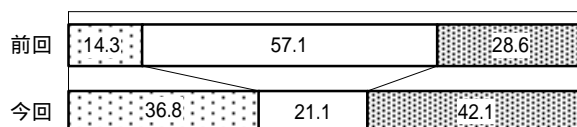
電気機器



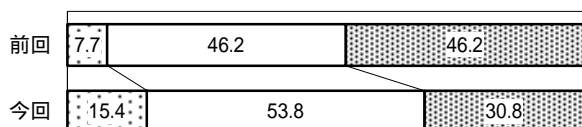
輸送用機器



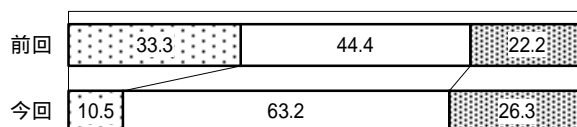
精密機器



縫製



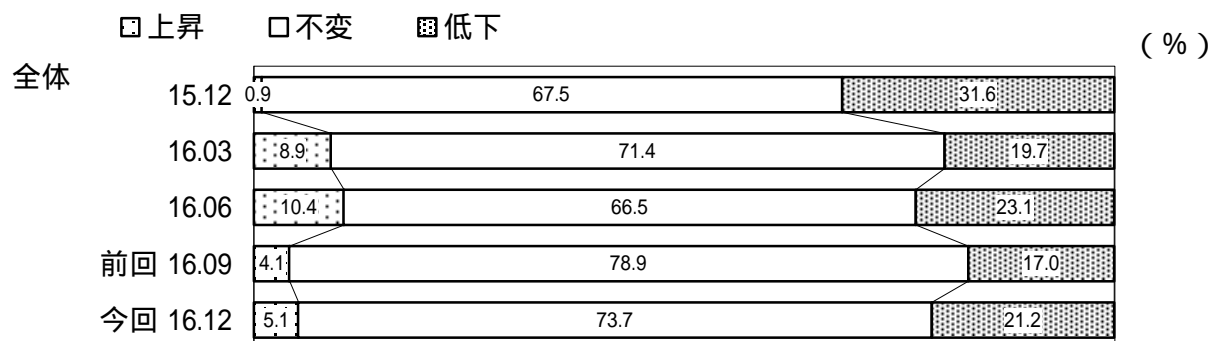
樹脂製品



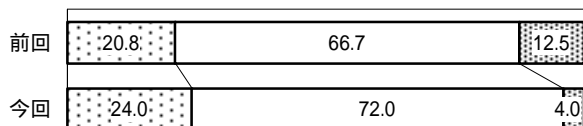
・全体では、「増加」とする企業が17.5%で前回調査と比べて0.4ポイント減少し、「減少」とする企業が31.3%で前回と比較して5.6ポイント増加している。

・業種別に見ると、金属製品で「増加」が「減少」を上回っている。前回調査と比べると電気機器、輸送用機器、精密機器、縫製では「増加」が増えているが、中でも精密機器では大幅に増えており、金属製品、縫製では、「減少」が減っている。

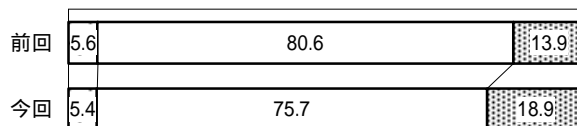
(3) 受注単価について



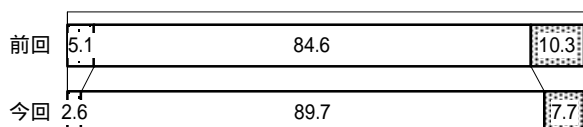
鉄鋼・非鉄



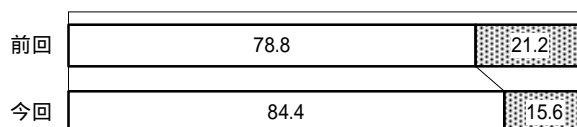
金属製品



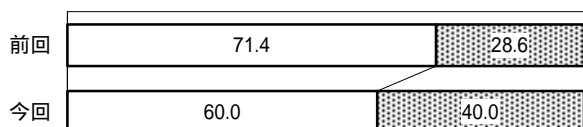
一般機器



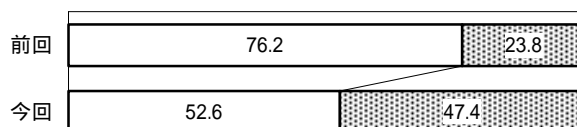
電気機器



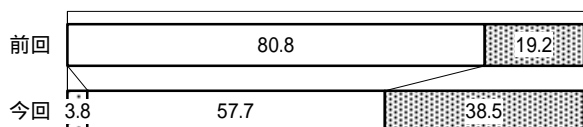
輸送用機器



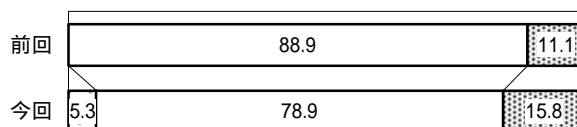
精密機器



縫製



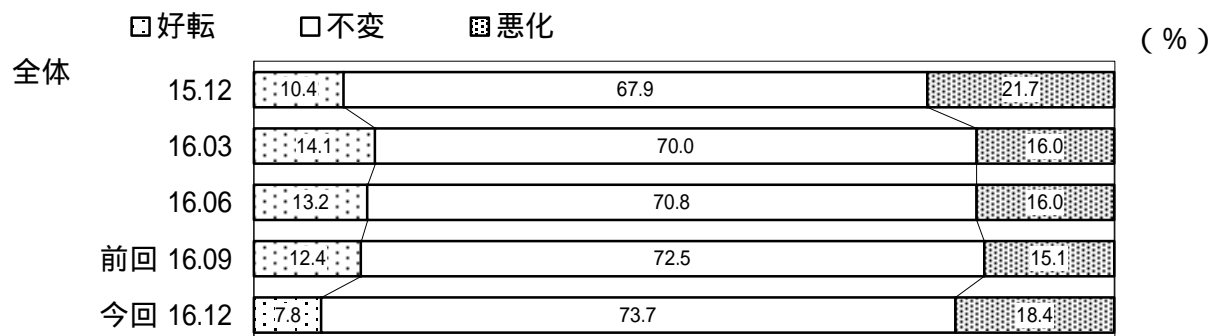
樹脂製品



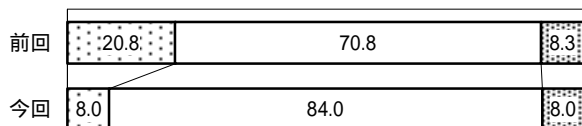
・全体では、「低下」とする企業が21.2%と4.2ポイント増加している。一方、「上昇」が5.1%、「不変」が73.7%となっている。基調としては、弱含みの傾向もうかがえるものの、全体としては引き続き横ばいで推移している。

・業種別に見ると、鉄鋼・非鉄では、「上昇」が「低下」を上回っている。前回調査と比べると鉄鋼・非鉄、縫製、樹脂製品で「上昇」が見られ、鉄鋼・非鉄、一般機器、電気機器では「低下」が減少している。

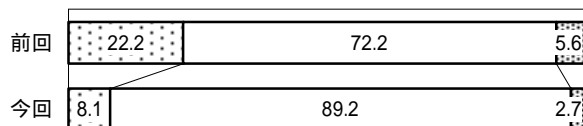
(4) 資金繰りについて



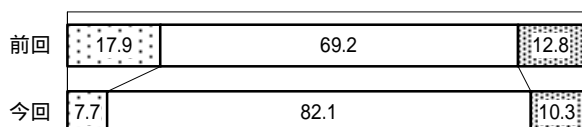
鉄鋼・非鉄



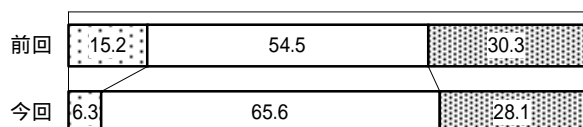
金属製品



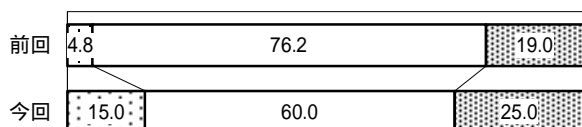
一般機器



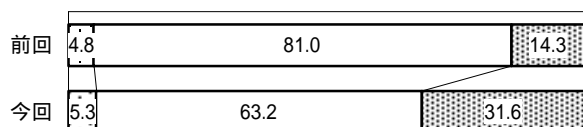
電気機器



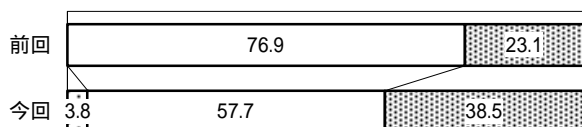
輸送用機器



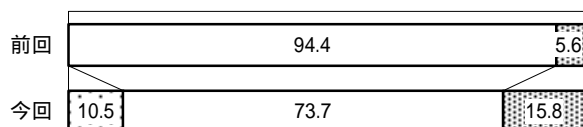
精密機器



縫製



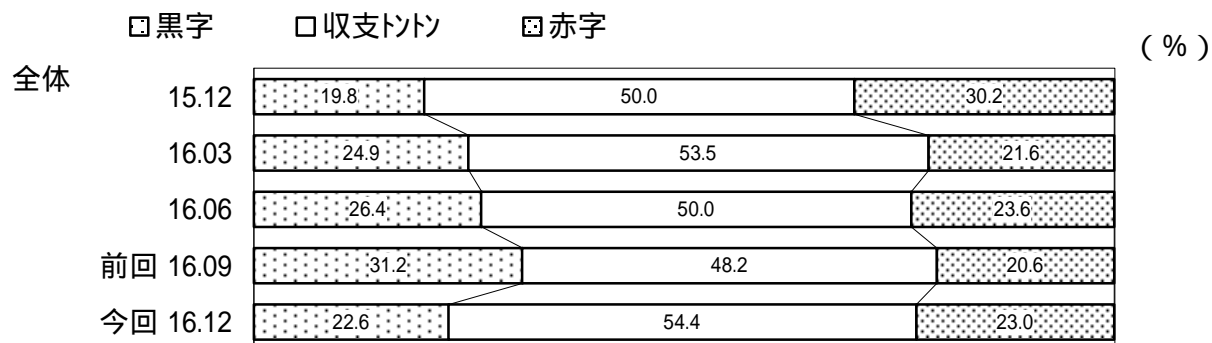
樹脂製品



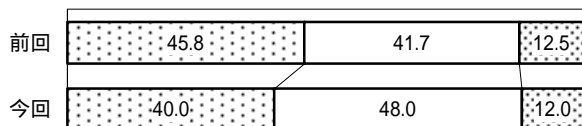
・全体では、「好転」とする企業は7.8%、「悪化」とする企業が18.4%で、「悪化」が「好転」を上回っている。前回調査と比べると「好転」が4.6ポイント減少しており、「悪化」は3.3ポイント増加しているものの、全体としては横ばいの傾向にある。

・業種別に見ると、金属製品で「好転」とする企業が「悪化」とする企業を上回っている。前回調査と比べると、輸送用機器、精密機器、縫製、樹脂製品では「好転」とする企業が増加している。

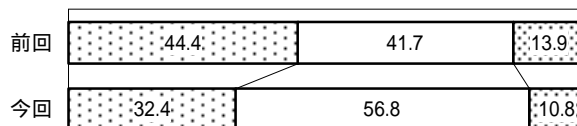
(5) 採算状況について



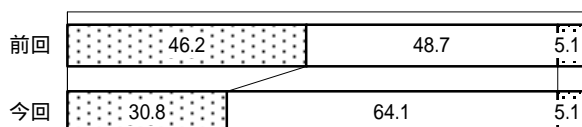
鉄鋼・非鉄



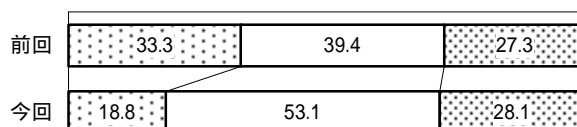
金属製品



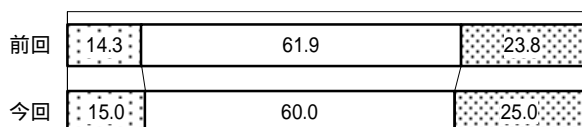
一般機器



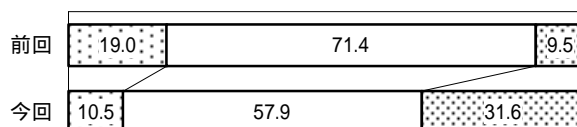
電気機器



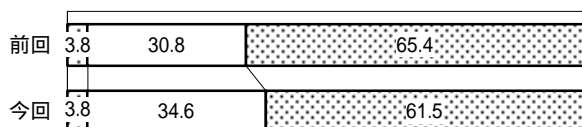
輸送用機器



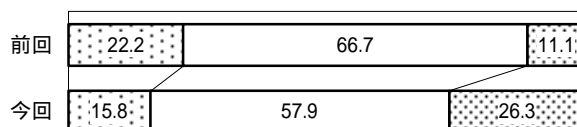
精密機器



縫製



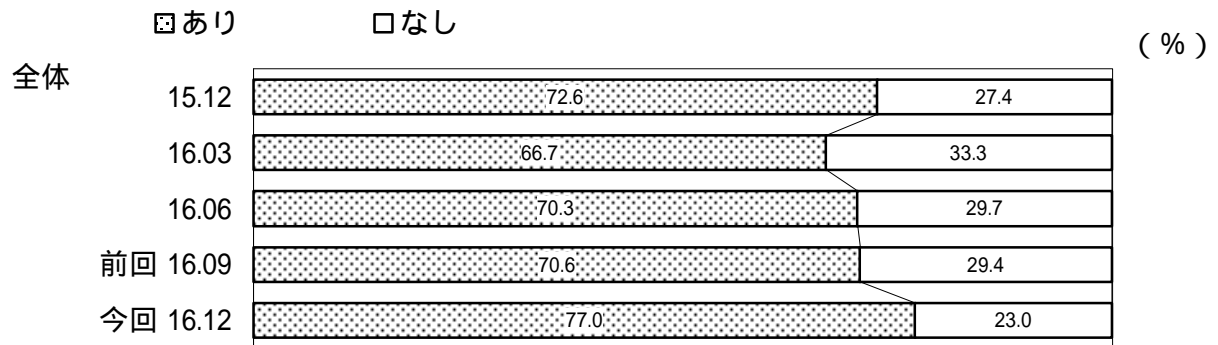
樹脂製品



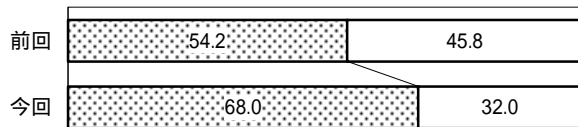
・全体では、「黒字」とする企業が22.6%で前回調査と比べて8.6ポイント減少しており、「赤字」とする企業も23.0%を占めている。僅かながら「赤字」が「黒字」を上回っているものの、「収支トントン」が半数を占めており、全体としては横ばいの傾向がうかがわれる。

・業種別に見ると、鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機器で「黒字」が「赤字」を上回っている。前回調査と比べると、輸送用機器で「黒字」とする企業が僅かに増加している。縫製では、依然として6割超が「赤字」としており、厳しい状

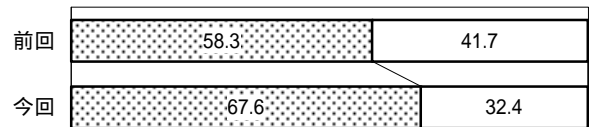
(6) 受注余力について



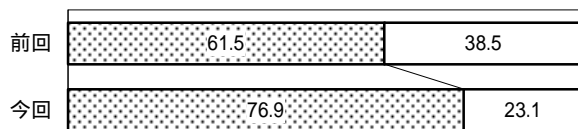
鉄鋼・非鉄



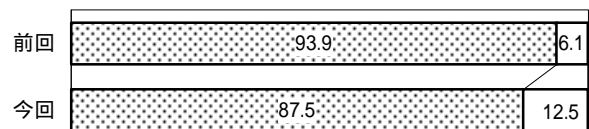
金属製品



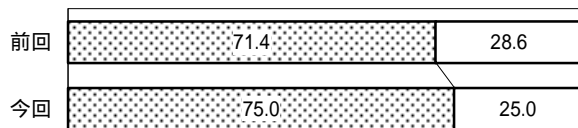
一般機器



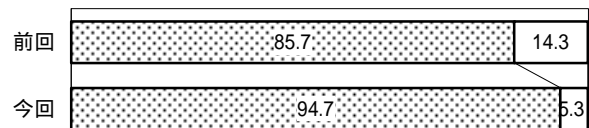
電気機器



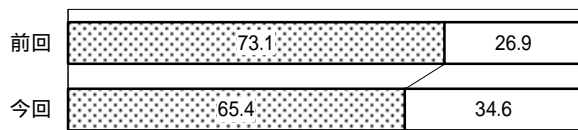
輸送用機器



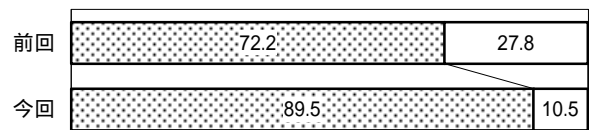
精密機器



縫製



樹脂製品



・全体では、余力「あり」とする企業が前回調査と比べて6.4ポイント増加し、77.0%の企業で受注余力があり、依然として受注確保の難しさがうかがえる。

・業種別に見ると、前回調査と比べて、電気機器、縫製で余力「なし」とする企業が増加しているが、精密機器では、余力「あり」とする企業が9割に達している。

財団法人 京都産業 21
総務部 企画広報グループ

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134（京都府産業プラザ内）

TEL (075) 315-9234 FAX (075) 314-4720
E mail: office@ki21.jp
URL : <http://www.ki21.jp>